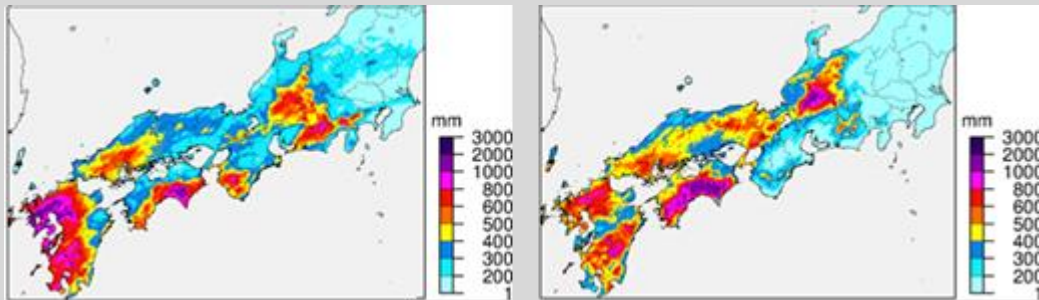


2021 年 8 月大雨災害への対応

気象・被害の概略

8 月 11 日から停滞前線の影響で西日本から東日本の広い範囲で大雨が続いた。広島市には 13 日午前から大雨特別警報(土砂災害)、14 日に避難指示が発令、県内で土石流や河川氾濫等による被害が発生した。

期間降水量(8 月 11 日～22 日 11 日間) 右は平成 30 年西日本豪雨 6/28-7/9 の 11 日間



広島などは西日本豪雨に匹敵する期間降水量となった
データ:日本気象協会 防災レポート No15(8 月 28 日)

災害ボラセン開設とチームの支援活動の概略

広島市では西区・安佐南区に局地的被害が発生、8 月 18 日に両区に災害ボランティアセンターが開設された。先だってチームは、発災直後の 15 日から被害拡大防止および区域の被害概況調査行い必要な資機材配布を行った。その後区並びに学区社協・自主防災会・自治会と連携して 17 日までに住宅被害の多い山本 6 丁目内に支援拠点の設置を行い、並行して資機材の補充、ボランティア集合受付や駐車場所等の体制整備に協力した。

避難指示が継続されたため、避難者と避難期間は生活避難所並みの規模になり、子どもの遊び用具や授乳テントの提供、共用場所の除菌・清掃など感染症予防対策など避難所運営に連日協力した。山本小学校避難所は 25 日午後まで開設された。

18 日に開設された災害ボランティアセンターであったが、天候不順と避難指示の継続で安佐南区災害ボランティアセンターの一般ボランティアによる復旧支援活動開始は再々延長となり 27 日から着手となった。

そのためメンバーは、安佐南区ボランティア連絡会有志、広島経済大学興動館プロジェクト、安佐北区ボランティアグループ等の皆さまで一緒に 21 日から下流部のニーズ A 点から復旧支援活動を開始、8 月 29 日にセンターに完了報告を行った。

西区も同様に天候不順等で一般ボランティアによる支援活動開始は延び延びになったが、チーム幹事が分担してセンターの設置支援や活動支援を行った。

安佐南区は 9 月に入り安東・伴両学区内の復旧支援活動に着手、9 月下旬の連休を活用して手直し等を含めて復旧支援活動は一段落、戻入資機材の整備等を行った。

両区の災害ボランティアセンターは 9 月 30 日をもって閉所となった。

